

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成24年1月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要

【前月からの動き】

⇨ 前月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は4から0に減少。「減少した」業種は6から11に増加。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は15から6に減少。「減少した」業種は8から18に増加。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は3から1に減少。「悪化した」業種は18から19に増加。

⇨ 前年同月比

- ▶ 製造業では、売上高において「増加した」業種は3から2に減少。「減少した」業種は9から8に減少。
- ▶ 非製造業では、売上高において「増加した」業種は7のまま変化なし。「減少した」業種は14から16に増加。
- ▶ 業界の景況では、「好転した」業種は2のまま変化なし。「悪化した」業種は24から23に減少。

製造業

■ しょうゆ製造

【県内全域】

例年通り、1月は低調であった。

■ 豆腐製造

【県内全域】

北関東産の新大豆が2月頃より入荷し始めるが、例年通りの販売量が期待できるか不安である。

■ 製材

【県内全域】

耐震化への動きが活発化する年になる。

■ 製材

【木更津】

ロシア材 原木船1隻(3852m³)入港。南洋材 原木船1隻(4063m³)入港。

■ 印刷

【県内全域】

1月の受注件数は若干増加しているものの、売上高は受注競争の激化や顧客の金額最優先が影響して大半の企業が減少のまま。

■ 電気鍍金

【千葉】

「がんばろう！日本」のスローガンで平成24年の新年を迎えたが、経済環境は依然として改善の兆しが見えない。本組合で、毎月前月の生産額と前年同月の比較を調査しているが、1月は前年同月比で95%であった。

■ 鉄工

【千葉】

各社の動向に特段大きな落ち込みは見られないものの、懸念材料

(円高・欧州危機・中国動向等)が多過ぎるため、様子見状況となっている。

■ 機械部品製造

【野田】

年明け全体一服感の状況にあるが、建設内需関係機材の動きが見える。業界動向は、円高株安、国内生産が厳しい中、電力料アップの状況、製造業は益々苦しくなる。

■ 機械部品製造

【流山】

1月は、受注が若干増えた業種もあるが、全体的には依然厳しい状況にある。

■ 土砂採取

【県内全域】

全体的には景気の低迷により公共事業等の発注が減少し、骨材の需要も減少し各企業は事業運営に苦慮している。しかし、一部には災害復旧の関係で骨材需要増加の方向のところがある。また、東京・神奈川方面の生コン需要が増える見込みのところもあり、生コン用骨材の販売数量も増える見込みのところもある。

業界動向は、砂の供給(資金面)も出来ず、砂需要も激減し、砂事業の廃業が年々目立ってきている。埋立用山砂については、工事物件があまりなく、厳しい予想となるので、生コン用砂を取り扱っていない。

ない会社は、経営にも影響が出る可能性がある。

非製造業

【総合卸】 【千葉県・東京都】

【漬物製造・卸】葉物野菜の高騰から仕入価格上昇。価格への転嫁難しく収益性低下。

【日用雑貨】厳冬影響で、マスク、消毒液、ティッシュ等例年に比べ出荷量若干増加傾向。

※今後、電力料金が引き上げられた場合、仕入価格、経費等のコストアップ、販売価格への転嫁難が予想され、収益性の低下が懸念される。

12月21日 東関東自動車道の「谷津船橋インターチェンジ」のトンネルが貫通。今後計画的な工事が可能となり、平成25年6月の供用開始が確定したインターチェンジの供用により、周辺経済環境の好転が期待される。

【建築材料卸売】 【県内全域】

景況の変化は、短期的には需要は安定している。久々に前年度を上回る。来年度、当初から始まる新規物件がめぼしいものがなく、不安要因だが、復興需要が徐々に出るであろうから、年間では今年度を上回るものと推定される。

自動車解体

【県内全域】

新車生産の回復、エコカー補助金により市況回復の兆し。ただし、対ドル対ユーロでの円高とスクラップ価格の下落があり楽観はできない。

乾物卸売

【県内全域】

消費低迷状況は変わらない。

卸売

【茂原】

景気は相変わらず下向き傾向にあり、物資の流通動向は見られない。厳しい状況が続いている。

電気機器小売

【県内全域】

エコポイントの影響で、昨年1月は販売が極端に下がったために、前年比増加に転じたが売上は小額で増加したとはとても言えない状況。業界で良いところは皆無。

中古車仕入・販売

【県内全域】

11年は結果的に緩やかな収束（後半の弱い基調が反映）。新年からの動き具合に要注目。この景況の中で取引機会を逃さぬよう注意が必要。小売に直接的に結びつく取引は強い値動きも見られ、少ない商機や商材を無駄にできない状況の裏返しともいえる。

小売

【東金】

正月商戦は、福袋も例年通りの企画なので単価も下がっており、

若干下降気味。その中でも、食品関係は健闘している。ファッション関連品は寒いので、重衣料の動きはあるが、依然厳しい状況。

小売

【野田】

正月の3日間は、初売りセールやイベントで来店客数が増え、通年より売上が上回ったが、1カ月トータルでは、前年同月比を割ってしまった。

印鑑小売

【県内全域】

エコカー減税による3月末迄の駆け込み自動車購入に伴う若者層の実印購入を狙った販促活動実施。

「はんこの自動販売機」が今月より発売される。ホームセンターや量販店に売り込んでいくものと思われるが、非常に不安で脅威を感じる。

小売・サービス

【柏】

歳末のスーパーでは正月用おせちの売上が悪かったと聞く。会員の店でも警備員を多く配置したが例年の混雑はなかった。1月はセールでも盛り上がりはなく、活気が感じられない。

1月中旬に入り寒さが本格的になつてから、セーター類は品薄状態になったが、その他のアイテム特にコート類の伸びが見られない

ため、金額的には苦戦状態。昨対比20%減は当たり前とのこと。

建設揚重

【県内全域】

稼働率は好調を続けているが、価格は一部で下降傾向にある。

害虫防除

【県内全域】

回復傾向は益々悪化状態。受注は、外来種が特に多く、ハクビシンネズミの受注・相談件数増加。

遊覧船

【鴨川】

1月1日より、2日、3日と入り込みが増加するのが例年でしたが、2日、3日と客足が減ったのは十数年記憶にない。各南房総の施設もまったく同じような傾向で、お互い首をかしげている。

ソフトウェア

【県内全域】

年度末を控え収益状況では多少明るい状況が見られる。

建設

【県内全域】

当連合会加入組合員の受注額は4,240百万であった。これは前月比で1,800百万の減少だが、前年同期比では同じ。

貨物運送

【野田市】

依然不安でいっぱいの日を送っている。

輸出入

【県内全域】

回復しつつあるが、前年同月比を超えない。